

県内経済の動き

概況

〔4月～6月の動き〕

緩やかな持ち直しの動きが続くも、一部に停滞感

鉱工業生産指数（4月）は3カ月ぶりに前月比上昇。輸出額（5月 細島港）は4カ月ぶりに前月比・前年比減少した。百貨店・スーパー販売額（5月 全店ベース）は2カ月連続で前年比減少し、「軽」を含む乗用車の販売台数（6月）は8カ月連続で前年比増加した。新設住宅着工戸数（5月）は、3カ月連続で前年比減少し、公共工事（5月 保証対象請負総額）は2カ月ぶりに前年を下回った。有効求人倍率（5月：1.39倍）は前月比0.01ポイント上昇した。6月の企業倒産件数は、56カ月連続1ケタ台で推移。

県内経済は、引き続き緩やかな持ち直しの動きが続いているものの、個人消費の一部が低水準で推移しているほか、住宅投資が3カ月連続で前年割れするなど、一部にはやや停滞感がみられる。
(厚地)